

# 北広島市総合計画策定市民懇話会 報 告 書

令和元年(2019年)6月



## 目 次

|   |              |    |
|---|--------------|----|
| 1 | 開催目的         | 1  |
| 2 | 開催概要         | 1  |
|   | 構成員名簿        | 1  |
|   | 開催日程         | 2  |
| 3 | 本懇話会を振り返って   | 3  |
| 4 | 総括           | 5  |
|   | 生活環境分野       | 5  |
|   | 保健・医療・福祉分野   | 7  |
|   | 教育・文化・スポーツ分野 | 9  |
|   | 産業・雇用分野      | 11 |
|   | 市民参加・交流分野    | 13 |
|   | ボールパーク関連分野   | 14 |
|   | 各地区          | 16 |

## 1 開催目的

北広島市総合計画の策定に当たり、市民及び関係団体から、北広島市の目指すべきまちづくりの将来像、方向性、課題等についての意見を求めるため、開催することを目的とする。

## 2 開催概要

### 構成員名簿

| 氏名等 |                      | 区分    | 所属団体等                            |
|-----|----------------------|-------|----------------------------------|
| 座長  | 由水 伸<br>(よしみず しん)    | 学識経験者 | 星槎道都大学 学長補佐                      |
| 副座長 | 竹村 画二<br>(たけむら がくじ)  | 団体選出  | 北広島商工会 理事                        |
| 構成員 | 飛鳥 ちえ子<br>(あすか ちえこ)  | 団体選出  | 北広島市 PTA 連合会 副会長                 |
| 構成員 | 及川 幸紀<br>(おいかわ ゆきのり) | 団体選出  | 公益社団法人<br>北広島市シルバー人材センター<br>事務局長 |
| 構成員 | 小池 隆史<br>(こいけ たかし)   | 団体選出  | 北広島市自治連合会 会長                     |
| 構成員 | 田中 宏明<br>(たなか ひろあき)  | 団体選出  | 社会福祉法人<br>北広島市社会福祉協議会<br>事務局次長   |
| 構成員 | 長島 博子<br>(ながしま ひろこ)  | 団体選出  | 北広島消費者協会 会長                      |
| 構成員 | 林 美奈<br>(はやし みな)     | 公募    |                                  |
| 構成員 | 本橋 健治<br>(もとはし けんじ)  | 公募    |                                  |
| 構成員 | 山下 裕子<br>(やました ゆうこ)  | 公募    |                                  |

座長及び副座長を除き五十音順(敬称略)

## 開催日程

| 第1回 |  |
|-----|--|
| 日時  | 平成31年(2019年)3月18日(月) 18:30~20:00   |
| 場所  | 北広島市役所 5階 委員会室   |
| 内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成員の紹介</li> <li>・ 座長及び副座長の選出</li> <li>・ 懇話会の運営について</li> <li>・ 報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>懇話会の進め方について</li> <li>北広島市の現状と見通しについて</li> <li>今年度実施の各種調査、ワークショップについて</li> </ul> </li> <li>・ 意見交換</li> </ul> |
| 第2回 |  |
| 日時  | 平成31年(2019年)4月17日(水) 18:30~20:30   |
| 場所  | 北広島市役所 3階 3D会議室  |
| 内容  | 分野別での意見交換<br>生活環境分野<br>保健・医療・福祉分野<br>教育・文化・スポーツ分野  |
| 第3回 |  |
| 日時  | 令和元年(2019年)5月10日(金) 18:00~20:30  |
| 場所  | 北広島市役所 3階 3D会議室  |
| 内容  | 分野別での意見交換<br>産業・雇用分野、ボールパーク等について   |
| 第4回 |  |
| 日時  | 令和元年(2019年)5月31日(金) 18:00~20:15  |
| 場所  | 北広島市役所 3階 3D会議室  |
| 内容  | 地区別の将来像に係る意見交換   |
| 第5回 |  |
| 日時  | 令和元年(2019年)6月19日(水) 18:00~19:30  |
| 場所  | 北広島市役所 5階 委員会室   |
| 内容  | 報告書案に係る意見交換  |

### 3 本懇話会を振り返って

座長 由水 伸

今回、進行役を務めさせていただきましたが、様々なご発言を伺うにあたり、北広島市について新しい知見が相次ぎ、大変勉強になりました。回を重ねるにつれて委員皆様の人柄が浮かび上がり、時々笑顔が見られるなど自然な雰囲気の中で進めることができました。話に熱がこもり時間が経つのがあっという間に感じるほどでしたが、あらためて、北広島に住む人の魅力と郷里を深く思いやる気持ちに気づかされた次第です。私自身も、このまちで何かやれそう、いつまでもこのまちを応援していきたいという思いが強くなりました。今後ともご縁があればどうぞよろしくお願いいたします。

副座長 竹村 画二

新しい「BP」という事業が加わる次の世代の北広島を想像するときに、懇話会の皆様とわがまちを振り返ることによって、その特色を見直し、資産として有効活用することで、他のまちとの違いを考える良い機会をいただきました。

飛鳥 ちえ子

懇話会に参加したことで、地域についての考えが整理され、また、各方面で活躍されている皆様のお話しも、大変ためになりました。北広島についての新たな発見もありました。北広島市が益々発展していけるよう、今後も人と人との関わりを大切に、一市民としてまちづくりに関わっていきたいと思います。ありがとうございました。

及川 幸紀

5回にわたる意見交換で、それぞれの委員が「これからの北広島市のまちづくり」について意見を持ち寄り、真剣に議論を重ねた結果まとめられたこの報告内容が、次期総合計画の策定に、私たち市民としての目線で望む将来像として十分に活かされるよう期待します。

### 小池 隆史

最初に、懇話会に参加させていただいた事に感謝致します。北広島市の現在の課題、そして、将来に向けての姿が少し理解でき、私なりにまちの未来像が見えて来たように思います。少子高齢化の大きな課題を、私たち市民が前向きな考えで知恵を出し合い協議する事で、必ず素晴らしい理想のまちを実現出来ると思います。懇話会の成果を次の世代が継いでくれることを願います。

### 田中 宏明

市の施策がなかなか市民の方に浸透していないことが理解できましたし、昔から課題とされてきたことが、意見交換を通じ、やはり今でも続いていると感じています。なお一層、BPによる変化に期待したいと思います。

### 長島 博子

由水座長のお心遣いで、ざっくばらんに、各分野の皆様と北広島市の将来について、熱い思いを話し合う事ができました。この懇話会が、子どもからお年寄りまで、住みよい北広島市の未来へ役立つ事を期待します。

### 林 美奈

懇話会に参加させていただき、大変勉強になりました。様々な意見を聞き、北広島市のことをもっと深く知ることができました。まちづくりを通して、地域の問題に目を向けることができました。市民の声をもとに、市民のためのまちになれば、より良いまちになると思います。

### 本橋 健治

様々な意見を交換できましたことは有意義でした。  
“まちづくり”は、第一義に市民・住民ですが、未来を見据えた時、それが“エゴ”になることなく、  
“開かれたまち”を念頭に、“風土の脈絡”を継承していく“施策と知恵”が大切であると再認識しました。

### 山下 裕子

北広島を詳しく知ることができ、北広島を知らない方にも北広島を宣伝することができるようになりました。北広島の観光をもっと広めていきたいと思っています。

## 4 総括

懇話会であげられた意見等を、分野別で次のとおり整理した。

### 生活環境分野

生活環境分野に関する意見等としては、次のとおりである。

- ・ 多世代に優しい公共交通機関の充実
- ・ 「さんぼまち」としてのまちづくり
- ・ 憩いの場としての公園の有効活用
- ・ 多文化共生の推進
- ・ 市民との協働による雪対策の推進
- ・ ごみの減量、リサイクル意識の更なる醸成
- ・ 防犯対策、消費者被害の未然防止の推進
- ・ 災害時の即応体制の強化
- ・ 空き地・空き家の流動化促進、住み替え支援、相談窓口等の充実
- ・ 集える場としての遊水地の利活用

| 区分               | 意見等   |
|------------------|---|
| 多世代に優しい公共交通機関の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バスは2社独占になっており、新規参入はできないのか。</li> <li>・ 交通関連業者も儲ければ参入してくるが、基本的に儲かっていないから入ってこないのではないか。</li> <li>・ 高齢化が進み、高齢者が運転免許証を返納したときも想定して、公共交通機関を充実していただきたい。</li> </ul>  |
| 「さんぼまち」としてのまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「さんぼまち」に一工夫あると良い。例えば、当市の花、樹木を植え、木々や鳥等の図と解説等を置き、自然を学習できるような、散歩したくなる仕掛け等があると良い。</li> </ul>   |
| 憩いの場としての公園の有効活用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園は多いが、遊んでいる子どもを見かけることが少ない。また、事故発生時の責任問題等で、遊具は縮小傾向にあるのではないか。</li> <li>・ 子どもたちの発育や運動能力の醸成等を含め、<u>子ども同士、親同士が交流できる環境をつくれたら良い。</u></li> </ul>  |
| 多文化共生の推進         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>外国人の中には文化の違いにより、ごみの分別が出来ず乱雑になっている</u>場合がある。<u>ごみの分別等の指導が必要ではないか。</u></li> </ul>   |
| 市民との協働による雪対策の推進  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玄関先に除雪された雪が置かれるといった苦情が多いかと思う。<u>住民が納得できる除雪体制が取れると良い。</u></li> <li>・ 消防等の緊急車両が通れるように道を確保すべき。交差点が極度に狭い部分等もある。</li> <li>・ 個人で除排雪の契約をしているケースがある。補助等を増やしたほうが良い。</li> <li>・ 通学路で大雪になると乗用車1台しか通れない程狭まっている。歩道もしっかり除雪していただきたい。</li> </ul> |



|                               |   |
|-------------------------------|---|
| ごみの減量、リサイクル意識の更なる醸成           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会で、資源ごみの回収を業者と契約し、月2回程度回収している。これは町内会の活動資金になっており、市は業者に売り渡した分の重量に対し補助金を出してくれる。町内会で独自にその一部を40Lのごみ袋として各家庭に還元しており、資源回収への関心が高くなっている。</li> <li>・<u>ごみ処理や食品ロス問題への意識</u>については、子ども達に教えるのが最も効果的で、家庭でも保護者が子どもから言われると意識が変わる。</li> </ul>  |
| 防犯対策、消費者被害の未然防止の推進            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各町内会に防犯協会をつくるよう市が補助を出しているが、できていない町内会もあるため、つくるよう進めていっていただきたい。</li> <li>・消費者被害のネットワークが全道でつくられているが、北広島市にはない。ぜひネットワークをつくっていただき、<u>被害に遭わないように</u>していただきたい。</li> <li>・成年年齢が18歳に引き下げられることもあり、小学生や中学生など、<u>子どものうちから消費者教育の推進を図る必要がある。</u></li> </ul>   |
| 災害時の即応体制の強化                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の経験を基に、更に激しくなる災害の状況を勘察し、より対策を充実する必要がある。</li> <li>・防災用品の準備は初歩で、本来の目的ではない。防災は、<u>災害時にいち早く救出</u>することが大事である。いかに連絡を速やかに取って協力し合うかが重要である。市の防災という危機管理の中で、もっと議論が必要である。</li> </ul>  |
| 空き地・空き家の流動化促進、住み替え支援、相談窓口等の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・北広島団地地区には賃貸や売却等もしていない空き家がある。例えば税金の優遇措置で、<u>空き家の賃貸や売却を促すことが必要ではないか。</u></li> <li>・北広島団地地区の世代交代が起こっており、空き家対策に力を入れていただきたい。高齢化率が50%を超えている町内会もあり、<u>世代交代が進むような施策を展開</u>していただきたい。</li> <li>・栄町の空き家の活用により、人口も増えてくると思う。特に駅の近くであれば札幌にも行きやすく、その点をPRすると人口が増えるのではないか。</li> <li>・空き地、空き家の問題は権利の制約もあるため慎重になると思う。<u>専門的なアドバイスが必要で、相談会等を定期的に開き、周知していくことが大事である。</u></li> <li>・空き家をリノベーションして活用することや、遠方に住んでいる方が所有する空き地も多いため、それらの土地をもっと活用すべきである。</li> </ul> |
| 集える場としての遊水地の活用                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東の里遊水池が今年度完成し、<u>市民や市外の方も集える場</u>として有効活用ができるよう工夫していただきたい。</li> </ul>  |

## 保健・医療・福祉分野

保健・医療・福祉分野に関する意見等としては、次のとおりである。

- ・ 子どもの居場所づくりの推進
- ・ 特別支援教育の充実
- ・ 産科の誘致
- ・ 高齢者の活躍の場づくり
- ・ 健康寿命の延伸
- ・ 独居老人等への見守り
- ・ 病院の広域的な利活用
- ・ 健康、子育てに関する相談体制の充実
- ・ 障がい者、高齢者等の活動のPR

| 区分            | 意見等  |
|---------------|--|
| 子どもの居場所づくりの推進 | ・子どもが <u>放課後に遊ぶ場所</u> として、ミニ児童会館が北広島市でもあると良い。大曲には夢プラザにあるが、近くに住んでいる子以外は、使いづらい距離である。学区内で、雨天時等に遊びに行けるミニ児童会館や児童会館が必要ではないか。   |
| 特別支援教育の充実     | ・北広島市の特別支援教育は進んでいる。北広島市の学校の特別支援教育を見学に来られ、北広島市を選ぶ方もいる。 <u>今後も充実</u> していただきたい。宣伝もしたほうが良い。  |
| 産科の誘致         | ・北広島市には産婦人科がないため、誘致制度を使い誘致を推進すべきである。   |
| 高齢者の活躍の場づくり   | ・お年寄り支援にも力を入れていただきたい。年配の方が集えるような場所をつくっていただきたい。<br>・高齢化において、 <u>アクティブシニア</u> 等として、様々な場面で活躍していただくべき年代であることを明記いただきたい。<br>・元気なお年寄りの方の活用を考えていくと良い。<br>・ <u>CCRC</u> (Continuing Care Retirement Community) による健康づくりが重要になってくる。 |
| 健康寿命の延伸       | ・医療機関にお世話になる前に、 <u>頭、心の健康寿命</u> をいかに延ばしていくかを考えたまちづくりが必要ではないか。<br>・セミナーやエクササイズ等による <u>高齢者同士の交流</u> 、 <u>子どもたちとの交流</u> 等が必要ではないか。  |

|                   |  |
|-------------------|--|
| 独居老人等への見守り        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居老人、孤立を防ぎ、終末問題として成年後見制度の活用や、最期の見送りをどうするのが課題である。</li> <li>・最期を迎えた後のことも心配で、残った家族がしっかり暮らせるよう、社会福祉協議会等でもう一步話ができる環境があると良い。</li> <li>・町内会では独居老人や高齢の家庭はできるだけ把握し、声かけ等をしている。プライバシーの問題等なかなか難しい面があるが、例えば自分が買い物に行くときに、近所の独居老人にも声をかけて、その方への買い物も一緒に行くというような「<u>声かけサポーター制度</u>」のようなものがあったら良い。</li> <li>・独居の高齢者には、日常生活上何かあっても声が届かないこともあり、<u>日常的に見守ることが重要</u>である。孤立死という問題も起きており、どのようなネットワーク等で支えていくのが課題である。ボランティアも高齢化しており、今後のまちづくりで重要なのは、<u>高齢者でも元気な人には見守る側に回っていただく</u>ということである。</li> </ul> |
| 病院の広域的な利活用        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大曲にいる方であれば北広島駅付近に行くより清田区の病院に行き、西の里であれば新札幌の病院に行く方が便利である。住民は、利用できれば、<u>市内の病院でなくても良い</u>と思っている。</li> </ul>  |
| 健康、子育てに関する相談体制の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他自治体に住んでいた際、保健福祉サービスがきめ細やかだった。<u>保健師の家庭訪問や電話連絡等</u>、こちらから向かわなくても声をかけてくれた。北広島市でも引き続き充実すべきである。</li> </ul>  |
| 障がい者、高齢者等の活動のPR   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者や高齢者が運営する飲食店などの店をPRするための取組が必要ではないか。</li> </ul>   |

## 教育・文化・スポーツ分野

教育・文化・スポーツ分野に関する意見等としては、次のとおりである。

- ・ スポーツ環境の整備
- ・ 学校施設の整備の推進
- ・ 学校の統廃合の検討
- ・ 英語教育の充実
- ・ 市内産の食材を活用した給食の推進
- ・ 生涯学習の推進や参加促進
- ・ 大学生の地域コミュニティ等への参加促進

| 区分               | 意見等   |
|------------------|---|
| スポーツ環境の整備        | ・ <u>少年団等の活動の場</u> が足りず、学校開放も取り合いのような状態である。人口芝や天然芝のサッカー場もあったら良い。  |
| 学校施設の整備の推進       | ・ 学校施設の改修済み部分と <u>未改修部分</u> の差が大きい。   |
| 学校の統廃合の検討        | ・ 児童生徒数が少なくなり、 <u>小学校1年生から中学校3年生まで各1クラス</u> というのは、子どもにとって <u>苦しい</u> 。合併は避けられないのではないかと。団体競技の部活動も1校では <u>成立しない状況</u> であり、体育祭、文化祭で対抗する相手のチームがない。 <u>友人トラブルがあったときに、組み直すクラスがない</u> 。まちづくりで大事なことは教育であり、合併した方が良い。   |
| 英語教育の充実          | ・ <u>教育の質の充実</u> が大事であり、今後は外国人観光客もたくさん来る中で、英語教師、ALTを増やしていかないと教育の質が高まらない。<br>・ 大人は6年間も英語を学んだのに話せない人が多い。外国の方とコミュニケーションをとるには英語が大事である。<br>・ 韓国にあるような英語村(英語のみで生活する村)を市内に作ってみたいが良い。<br>・ 英語授業も始まるため、授業数の検討が必要。教育特区として独自のカリキュラムや教育方針をたててはどうか。<br>・ これからの若年層は海外の人との話をし、馴染んでいくことが必要である。<br>・ 北広島らしい海外研修があっても良い。治安の良い海外で一定期間暮らす。そうすると英語を喋ることができるようになるというツアーがあっても良い。<br>・ 英語が何故必要かを小学生のうちから教えるべきである。 |
| 市内産の食材を活用した給食の推進 | ・ 学校給食は、 <u>食育</u> に関連して北広島市産の食材を使って、メニューも充実しているため、引き続き充実させていくべきである。  |

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 生涯学習の推進<br>や参加促進            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が増えてくるため生涯学習を充実し、市の補助も幅広いものにしていっていただきたい。</li> <li>・生涯学習関連の企画はあるが、参加率が上がらない理由は何か。参加している人は元気でやる気のある人だけである。実際に来ていただきたい方は家から出ない状況である。<u>一人である子ども、お年寄りに来てもらうにはどうしたら良いか。</u></li> <li>・生涯教育等の告知、回覧板は、働いている人はあまり見ない。スマホ等を使って、明日、明後日の近いタイミングで予約できる仕組みであれば良い。</li> <li>・デジタル、アナログ両方での<u>情報発信</u>が必要である。</li> </ul>  |
| 大学生の地域コ<br>ミュニティ等へ<br>の参加促進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・星槎道都大学は商工会と連携協定を締結している。大学誘致に苦労している自治体がある中、市内に大学があるというのは良いことである。</li> <li>・例えば北広島市でアパートの家賃の一部を補助し、学生に住んでいただき、その代わりに地域のコミュニティ活動に参加してもらうのはどうか。</li> <li>・大学側も地域に学生が出向き、地域での交流、学習のため単位化している。こういった制度があれば、<u>地域コミュニティに参加</u>するだけで単位が取得できるということにもなり、面白い仕組みである。</li> <li>・大学生は市内にバイト先がないため、市外へ出ていく。北広島市内で商用の実践や工場での技術的なものを学ぶようなアルバイトがあると良い。商工会ともカリキュラムを立ち上げて、お互いに良いところ取りができるような仕組みができれば良い。</li> </ul> |

## 産業・雇用分野

産業・雇用分野に関する意見等としては、次のとおりである。

- ・ 駅周辺の一体的なまちづくり
- ・ 自転車のまちとしてのPR
- ・ 各種ツーリズム等のパッケージ化
- ・ スポーツ合宿等の誘致
- ・ 市内消費の促進や市内事業者のPR等
- ・ 雇用の場の確保やキャリアデザインの必要性
- ・ 創業支援方法の検討
- ・ シルバー人材センターとの連携等
- ・ 買い物環境の維持確保
- ・ 農業者の支援と農業の振興

| 区分            | 意見等   |
|---------------|---|
| 駅周辺の一体的なまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボールパークに向かう道路が暗い。学生も通るため、街灯も明るくすべき。駅前も暗い。また、駅に時計がついていない。明るくしていくべき。</li> <li>・ 閉店後の店舗にも軽い照明をつけていただき、明るさを残せないか。</li> <li>・ 夜の明るさは、他市と比較してもそれほど暗くはない。光の連坦性をどう上手く使うかが重要である。以前は、各家庭でイルミネーションがあり、そのように何か明るさのポイントとなるまちづくりができると良い。</li> <li>・ 例えば小樽は、雪明かりの道づくりをしている。電気だけではない取組もある。</li> <li>・ 節電が望まれるなら、LED、太陽光発電の活用もあると思う。</li> <li>・ なぜ駅前の店は繁盛しないか。通勤・通学のためだけにしか人が来ないからか。</li> <li>・ ボールパークができて野球の試合以外には人が来ない。野球がなくても、北広島駅に行ったら、何かおもしろいものがあると思うものがないと、ただの素通り駅になる。</li> <li>・ 北広島産品を売る直売所、夏はアイスクリーム屋、ビアガーデンはどうか。</li> <li>・ 駅前であっても採算性が悪いので、業者は撤退せざるを得ないのが現状である。道の駅がないから作れないかによく言われるが、作ったものの中に何を置くか、施設の中を埋められる商品は今あり、用意できるのか、中身も同時に進めていかなければならなく、駅前の再開発も同じである。</li> <li>・ エルフィンパークは、イベントスペースとしては有効である。しかし、火を使ってはいけない等の制約があるため自由ではない。</li> <li>・ 制約の少ない空間を駅周辺につくって、店を開いたり、イベントを開催できれば良い。又は、特区の導入を検討してはどうか。</li> </ul> |
| 自転車のまちとしてのPR  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内の自転車道を、有機的につなぎ、拠点毎に施設や店があると、「自転車のまち北広島」ということでPRできるのではないか。</li> </ul>   |



|                      |  |
|----------------------|--|
| 各種ツーリズム等のパッケージ化      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農泊、農業体験をパッケージで売べきである。</li> <li>・例えば、<u>農泊や野球観戦とサイクルツーリズム、スポーツ&amp;ヘルスツーリズム、グリーンツーリズム</u>等を掛け合わせたものをつくり提供する。</li> <li>・北広島市観光協会は、<u>地域限定旅行業</u>を取ったほうが良い。北広島市内及びその近隣（江別市、長沼、恵庭等）で、<u>地域を限定した旅行</u>をできるようにすると良い。</li> <li>・観光客が、北広島市と近隣の栗山町や長沼町などを相互に行き来するような<u>広域的な視点</u>を持った施策も良いのではないか。</li> <li>・<u>田園ウォーキング</u>やイギリスで行われているようなフットパスを、ガイド付きで実施してはどうか。</li> <li>・自然を楽しみながらウォーキングツアー、フットパス、このような仕掛けを総合的に実施してみると良いのではないか。</li> <li>・自然の森のキャンプ場等も活用できると良い。</li> <li>・市P連主催で、子ども向けのキャンプ大会を実施すると良い。</li> </ul> |
| スポーツ合宿等の誘致           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊研修、修学旅行、スポーツ合宿を誘致してはどうか。</li> </ul>  |
| 市内消費の促進や市内事業者のPR等    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・北広島のを売りに出していくなら、北広島産のものを使用した料理の提供をはじめ、<u>宣伝</u>をしていくべき。</li> <li>・グルメマップをみると、<u>意外と飲食店はある</u>ことがわかった。</li> <li>・グルメマップは、できれば分野別に整理されると良い。</li> </ul>   |
| 雇用の場の確保やキャリアデザインの必要性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・働く場所がないと人口は増えない。雇用の場として、工業団地は強みになると思う。</li> <li>・雇用が創出され、<u>子育て世代が住むこと</u>になれば人口は増え、経済も動く。</li> <li>・親の介護のため北広島市に帰ってきた世代向けの仕事がない。若年層だけではなくそういった世代にも目を向ける必要がある。</li> <li>・雇用環境を整備するだけでなく、働く人たちのキャリアデザインという視点も今後必要である。働いている人達が、いかに<u>自分の人生を、仕事を通して満足できるか</u>という視点が必要である。</li> </ul>  |
| 創業支援方法の検討            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗利用の補助制度により本市に来て開業される方が結構いる。予算の上限もあるため、<u>別な形の支援にするか、議論</u>していただきたい。この制度により、商工会加盟が増えている。</li> </ul>   |
| シルバー人材センターとの連携等      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定年の延長等によりシルバー人材センターに入会する会員の年齢が高く、会員が増えない状況だが、<u>会員の拡大計画</u>などの様々な取組を実施しているため、市とも連携し、会員の確保を図る必要がある。</li> </ul>  |
| 買い物環境の維持確保           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>移動販売車</u>は大好評である。利用者のニーズを聞き、改善している。他の地域にも広げられればありがたいという声が出ている。冬期は、道幅が狭くなり、停める所があるか懸念される。まだ知名度は低いので、<u>宣伝が必要</u>である。</li> <li>・例えば自分が買い物に行くときに、近所の独居老人にも声をかけて、その方への買い物も一緒に行くというような「<u>声かけサポーター制度</u>」のようなものがあれば良い。(8ページ「独居老人等への見守り」再掲)</li> </ul>  |
| 農業者の支援と農業の振興         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の農業者を応援し、<u>農業の振興</u>を図るべきである。低農薬で栽培している農業者や、障がい者を雇用している農業者もいる。</li> <li>・農業者の高齢化と後継者不足を見据えた対策が必要である。</li> <li>・北広島ならではの赤毛米を活かした製品づくりにも取り組んでいる農業者もいる。<u>市としてもPR</u>すべきである。</li> </ul>  |

## 市民参加・交流分野

市民参加・交流分野に関する意見等としては、次のとおりである。

- ・シティセールスの推進
- ・多言語表記・多言語対応の推進
- ・町内会活動の維持促進

| 区分             | 意見等   |
|----------------|---|
| シティセールスの推進     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・シティセールスの目的は人口増加であり、成果は見えにくいだが、実施していなかったらもっと人口が減っていた。今後も実施すべきである。</li> <li>・高齢者の流出を食いとめる策が必要ではないか。</li> <li>・子育て世代をターゲットとして良い。子どもの学校のために、教育環境の良い北広島市内に転入する人達がいる。北広島市の良い教育環境をPRすべきである。</li> </ul>   |
| 多言語表記・多言語対応の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語表記をしっかりとしたほうが良い。</li> <li>・学校で、日本語が話せない保護者は、子どもに通訳を頼んでいるが、なかなか難しい部分もある。通訳の方を確保できない状況である。</li> <li>・翻訳機械を導入すると良い。</li> <li>・町内会にも翻訳機械があったら良い。ごみ分別等、地域のルール説明にも使える。</li> </ul>  |
| 町内会活動の維持促進     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに転入してきた方達の中には、街灯の電気代、排雪、ごみステーションの維持等は、町内会費で賄って管理していることも知らずに、町内会には入らない人がある。</li> <li>・人と人のつながりを市役所と町内会の力でどのように対策していくか。</li> <li>・町内会がある程度の規模を維持していれば、町内会費や市の補助金を使って除雪や防犯、街路灯の設備等を実施できるが、規模が小さくなった町内会は、街路灯の電気代すら維持できない状況に陥っている場合もある。</li> <li>・公共的なものをどう維持するかは、町内会の力。生活しやすくするには町内会の協力が重要である。町内会費は、高いところで年間1万円程になるが、多くの人で小さな負担をするという考え方をしていけない。</li> <li>・防犯の街灯の整備、ごみ、排雪の3点は町内会で必ず問題になるため、市にばかり頼らず、町内会や自治会は、自分達で何とかしていかなければいけない。引き続き、市と町内会の連携が必要である。</li> <li>・少子高齢化等の現状における町内会のあり方(自主的な再編成等を含む。)について、検討する必要がある。</li> <li>・町内会への未加入者もいるため、加入することの重要性について、もっと市民に知ってもらう必要がある。町内会というコミュニティを形成する意義は大きく、ごみステーションの維持管理、防犯灯の維持、排雪の実施、防災や防犯活動なども実施されていることを周知すべきである。</li> </ul> |



## ボールパーク関連分野

ボールパーク関連分野に関する意見等としては、次のとおりである。

- ・ ボールパークから波及するまちづくり
- ・ スポーツコミュニティの実現
- ・ 駅からボールパークまでの道づくりの必要性
- ・ 渋滞対策と道路整備の必要性
- ・ 騒音対策の必要性
- ・ 交通アクセスの整備

| 区分                   | 意見等   |
|----------------------|---|
| ボールパークから波及するまちづくり    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボールパークで観光に来た方の宿泊地や雇用のこと、教育のことも、<u>色々なことがボールパークを中心に広がっていけば良い</u>。とても楽しみにしている。</li> <li>・ やはりボールパークは凄く夢のある事業であるため、総合計画に生かしていただきたい。また、ぜひ高齢者の雇用についても、つなげていただきたい。</li> <li>・ 観光も、雇用もまだまだ見込めると思うので、北広島が大きくなっていくのだろうと感じた。</li> <li>・ 一言で言うと、<u>北広島地域ブランドの確立</u>、これをつくっていく良いチャンスである。</li> <li>・ 北広島市の各地区の方が、ボールパークをきっかけとして、<u>北広島駅の周辺にも来ていただけることになると思う</u>。本当にボールパークは、このまちにとって今後の重要なポイントになっていく。</li> </ul> |
| スポーツコミュニティの実現        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボールパークができることにより、<u>スポーツコミュニティが推進される</u>ことを期待する。</li> <li>・ ボールパークは、本当に期待しているので頑張ってください。私たち市民が応援しないと実現しないと思うので、応援したい。</li> </ul>  |
| 駅からボールパークまでの道づくりの必要性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の駅の改修が良いと思っている。野球シーズンは真冬ではないので、徒歩で1.5kmならボールパークまで行ける。しかし、今のままの道を車の排気ガスを吸いながら歩くのは良くないと思う。プロムナード的(散歩、散策等)な位置付けで、例えば当市の花ツツジを植えて、花々で飾られた道をゆっくり歩きながらボールパークへ行くというストーリーをつくったほうが良いのではないか。</li> <li>・ 数万人単位の人が移動するとき、1km程度の距離が最低限必要である。ボールパークから駅までは1km以上あるので、結構分散はされる。しかし、道路をもう少し拡幅することや、屋根をかけたりすると、大分歩く長さの印象が違ってくると思う。</li> <li>・ 例えば自転車専用道路を拡幅し、シェルターをかけて全天候型にしていたくのも良いのではないか。</li> </ul>               |

|                      |  |
|----------------------|--|
| <p>渋滞対策と道路整備の必要性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールパークができたときの渋滞問題はどうか。地域住民が渋滞により帰宅できないということが起きないか不安である。道路整備が必要である。</li> <li>・野球の試合終了後、JR 駅に人が一気に押し寄せると乗れない。それらを受けとめるための飲食店等が必要である。駐車場も夜遅くまで使うことができるようにし、ボールパークの中で十分余韻を楽しんだ後に帰れるようにしていただきたい。</li> </ul> |
| <p>騒音対策の必要性</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する北広島高校、周辺への騒音対策をしていただきたい。</li> </ul>  |
| <p>交通アクセスの整備</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャトルバス運転手不足が懸念される。運行体制の検討が必要である。将来的には、自動運転になる可能性もあるかもしれないが。</li> <li>・寒冷地仕様のモノレールをつくっていただきたい。世界的にシティセルスを展開する上での有力な手段にもなる。</li> <li>・動く歩道をつくれれば良い。</li> </ul>   |

## 各地区

### 北広島団地地区(さんぼまち)

北広島団地地区は、「買い物環境の維持確保」、「高齢者も住みやすいまちづくり」をはじめ、「駅付近への子育て施設の設置」、今の時代や需要に合った「子育て世代の定住促進」、「商業施設の誘致と維持」、地区のイメージ向上を図る「地区のブランド化」、「集合住宅の再生・再編に関する情報共有」について意見があげられた。

### 東部地区

東部地区は、「東の里遊水池の利活用」、「観光地の中継的役割」を果たし、「流入人口増加の推進」といった観光に関する意見や、「世代間交流」の活発化があげられた。

### 大曲地区

大曲地区は、札幌市に近い「利便性の高さ」があげられ、「渋滞緩和対策」や「商業施設の活用」に関する意見があげられた。

### 西部地区

西部地区は、「旧島松駅逡所の活用」や「自然を生かした集客」、「寒地稲作発祥の地としてのPR」等の観光等に関する意見があげられた。

### 西の里地区

西の里地区は、「文教・福祉のまち」として位置づけることや、札幌市に近い「交通の利便性の高さ」があげられた。

### 地区全体

地区全体を通して、「各地区の特色」を生かしたまちづくりを図る必要があることや、「ボールパークからの波及効果」等があげられた。

また、各地区の今後の方向性を一言で言うならば、次のとおりあげられた。

|                    |         |
|--------------------|---------|
| 北広島団地地区<br>(さんぼまち) | 緑豊かな住宅街 |
| 東部地区               | 都心部     |
| 大曲地区               | 商業      |
| 西部地区               | 自然      |
| 西の里地区              | 文教・福祉   |

### 北広島団地地区(さんぼまち)

| 区分                 | 意見等   |
|--------------------|---|
| 買い物環境の維持確保         | ・高齢化に伴い、買い物難民予備軍の対策が必要である。買い物のしやすさが重要であり、移動販売車もあるが、基本的には駅前にバスで行き、買い物をしている状況である。   |
| 高齢者も住みやすいまちづくり     | ・市民意識調査で今の場所に住み続けたいという気持ちが強いのであれば、その方向でまちづくりをするべきだ。高齢者が多いなら多いなりに良いまちにしていけば良く、この地域の特色になる。<br>・北広島駅周辺に高齢者のまちをつくと、駅も病院も行ける、買い物もできる。                      |
| 駅付近への子育て施設の設置      | ・駅前に保育園があれば良い。夫婦で通勤の際に子どもを預けることができる。  |
| 子育て世代の定住促進         | ・最近、土地の1区画を分けて、2軒分の土地として使われている。<br>・空き地を利用し、若者が住みたいと思うデザイナーズの建物をつくる。<br>・スポーツを推進する学校をつくと家族で引っ越してくるのではないか。   |
| 商業施設の誘致と維持         | ・「さんぼまち」の発展には、商業施設の誘致が重要である。歩いて行ける場所にお店があれば、そこで買い物が済み、地域住民との交流も生まれる。<br>・コンビニエンスストアが複数あり、便利である。   |
| 地区のブランド化           | ・高級なイメージの付加価値を付けるべきである。坂道があり、小高いところに家が建ち、木々が美しく、素敵なお洒落なカフェやペンションがあると良い。エルフィンロードとトリムコースがつながると良いが、自転車で来た方がお洒落なペンションに泊まって食事をし、綺麗な自然があるといった高級のイメージにしても良い。 |
| 集合住宅の再生・再編に関する情報共有 | ・道営住宅やUR賃貸住宅の再生・再編に関し、住民や関係機関と情報共有していく必要がある。  |

### 東部地区

| 区分            | 意見等   |
|---------------|---|
| 東の里遊水池の利活用    | ・ポイントは東の里遊水池の利活用であり、自然の良さをうまく活用すべきである。                      |
| 観光地の中継的役割     | ・ボールパークから車で栗山へ抜けても、千歳へ抜けても非常に利便性が高く、周辺の観光地との中継的な役割を果たせると良い。 |
| 流入人口増加の推進     | ・興味を持ってもらえる施設をうまく配置し、流入人口を増やすことができる。                        |
| 駅付近への子育て施設の設置 | ・駅前に保育園があれば良い。夫婦で通勤の際に子どもを預けることができる。(再掲)                    |
| 世代間交流         | ・世代を分散し、高齢者が健康寿命を楽しめるよう、各地域のコミュニティセンターがその役割を担えると良い。         |

### 大曲地区

| 区分      | 意見等                                     |
|---------|---|
| 利便性の高さ  | ・札幌市内と同様の利便性がある住み良い地域である。               |
| 渋滞緩和対策  | ・週末の渋滞が激しく、夏は霊園のある里塚まで渋滞しており、緩和策が必要である。 |
| 商業施設の活用 | ・大曲に集積する商業施設を各種施策等で活用すべきである。            |

## 西部地区

| 区分             | 意見等   |
|----------------|---|
| 旧島松駅通所の活用      | ・島松沢の駅通所にクラーク博士が別れた場所としての碑があるが、この駅通所をもっと売り出せないか。北広島にある国の史跡はこの一つだけのため貴重である。  |
| 自然を生かした集客      | ・島松川の源流があり野鳥の宝庫となっている。自然を楽しむ観光を売り出せば良い。<br>・もっと自然を楽しむ観光を売り出せば良い。駅通所含め、全道的には知名度が低い。<br>・清田区等から小学生のバスツアーを呼び込み、駅通所や大曲の工場見学と組み合わせた現地学習を実施すると良い。 |
| 寒地稲作発祥の地としてのPR | ・寒地稲作発祥の地であることをPRすべきである。  |

## 西の里地区

| 区分        | 意見等                                      |
|-----------|--|
| 文教・福祉のまち  | ・子育てと福祉のまちという雰囲気を出せば良い。<br>・文教都市としてはどうか。 |
| 交通の利便性の高さ | ・地下鉄や上野幌駅が近くて札幌への通勤通学に便利である。             |

## 地区全体

| 区分            | 意見等   |
|---------------|---|
| 各地区の特色        | ・各地区の現状の独自性を生かして、地域の特色をつくっていった方が良い。西の里地区は文教地区、北広島団地地区は緑豊かな住宅街、大曲地区は商業を中心とした地区、東部地区は都心部、西部地区は自然を生かしたまちづくり。<br>・各地区の色を濃くしていき、まちの中に様々な地区の特色があり、それぞれ違った地区に行く必要性を感じるようなまちづくりにしてはどうか。市民も各地区に行く価値を感じ、廻って楽しめる。市民が楽しいから市外の方も来る。同じ観光の施策でも、市民に向けた観光施策があっても良いのではないかと。 |
| 各地区の地域ブランド化   | ・各地区の良さを、ブランド化すべきである。パン屋等の施設を生かすべきである。  |
| 利便性が高い        | ・大曲と西の里は、札幌に近いと、病院や商業施設の多さなどの境界(行政界)を越えたメリットを北広島のメリットと考えても良い。   |
| ボールパークからの波及効果 | ・ボールパークの開業により、駅を越えて、北広島団地地区や東部地区の中で滞留できるようになれば良い。   |
| その他           | <バスの運行><br>・大曲インターヴィレッジやアウトレットの循環バスがあると良い。<br>・渋滞緩和対策として買い物バスを運行すると良い。<br><駐車場整備><br>・ボールパークや商業施設の完成に伴い、駐車場の整備、規制強化が必要である。<br><交流人口の拡大等に向けて><br>・住民の快適性が一番だが、外から人を呼ぶ、稼ぐ力というのが必要である。住民の快適性プラス稼ぐ力。その稼ぐ力は、我々市民のアイデアを結集しなければならない。                             |